

新型コロナウイルス感染を疑い、帰国者・接触者外来に紹介を検討されてる長岡市医師会員の皆様をお願いいたします。

昨年12月、中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、ついに本県にも及び、3月6日現在PCR陽性6症例を認めることとなりました。長岡市においても今後、感染拡大が危惧される状況と言えます。

さて、新型コロナウイルス感染疑い症例に対応する“帰国者・接触者外来”の設置病院は一般には公開されてはいませんが、中越地区では長岡中央総合病院と長岡赤十字病院がそれにあたっております。1月以降、現在まで、新型コロナウイルス感染疑い例は、まず、保健所の“帰国者・接触者相談センター”に電話連絡後、必要に応じ、センターから指定された病院の帰国者・接触者外来を受診する体制になっておりました。

皆様もご存じの通り3月6日より新型コロナウイルス感染症のPCR検査が保険適応になります。また、同時に、これまでの“最初に帰国者・接触者相談センターに相談する”という縛りが緩み、診療所の先生方が新型コロナウイルス感染を疑い、検査の必要を認めれば、帰国者・接触者外来に直接紹介しPCR検査を依頼することが理論上は可能となります。

しかしながら、県内の民間検査機関はPCR検査受け入れを表明しておりませんし、県外の検査機関による迅速な対応も期待できない状況です。また、長岡赤十字病院では自前で新型コロナウイルスPCR検査を実施すべく準備をしていますが、実働可能となるまで3週間程度を要します。したがって、県内におけるPCR検査は保健所を経由し新潟県の公的検査機関で検査する、という従前の体制・処理能力で推移するものと予想されます。医師会員の皆様におかれましては保険収載に伴い地域における新型コロナウイルスPCR検査可能枠が劇的に増えるわけではないことをご理解いただきたく思います。また、帰国者・接触者外

来の診察には、医師・看護師が患者ごとにマスクや防護服を着脱するため、PCR
検体採取、レントゲン・血液検査、を含め、1名の疑似症例の対応に1時間程度
を費やすこともお含みおきください。

今後、新型コロナウイルス感染を心配される患者さんは増加の一途をたどる
こととは思いますが、当面の間、中越地域において検査能力、外来診療能力の大
幅な拡大は望めません。また、二種感染症指定医療機関である長岡赤十字病院は
外来診療に加え重症化した新型コロナウイルス肺炎患者さんの入院治療にもあ
たらなければなりません。以上のような中越地域の現状を踏まえ、安易なPCR
検査依頼は避け、疑似症例の紹介につきましては、帰国者・接触者相談センター
(保健所)に連絡の上、トリアージ後に指定された病院の帰国者・接触者外来を
受診するという旧来の体制を遵守していただけるようお願い申し上げます。

長岡市医師会、長岡中央総合病院、長岡赤十字病院を含め地域のすべての医療
関係者が協力して、保険適応をきっかけとした新型コロナウイルス感染疑似患
者の雪崩のような受診による医療崩壊がおきないようにご協力をお願い致します。

2020年3月6日

長岡市医師会	会 長	長尾政之助
長岡中央総合病院	病院長	富所 隆
長岡赤十字病院	院 長	川嶋 禎之